

備前市 事務事業評価表

事務事業名	公共システム維持業務		コード	01-01-17-04
			担当課・係	企画課 情報政策班
事業実施期間	S61～		担当者	草加 浩一
			電話	64-1812
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり		
	中項目(基本施策)	生活しやすいまちづくり		
	小項目(施策)	情報通信		

事業について	
目的 (何のために)	市基幹業務の安定稼働、各種アプリケーションの稼働維持、セキュリティ対策の実施、インターネット・メール環境維持など（備前市情報ネットワークのソフト面）
対象 (誰・何を対象に)	市民、児童・生徒（狭義には市役所、学校等のため）
内容	各種アプリケーションの稼働維持、セキュリティ対策、インターネット・メール環境維持など（基幹業務系アプリケーション（50）、情報系アプリケーション（11）、セキュリティ対策など）

事業の結果						
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)			
情報ネットワーク保守委託						
電算業務保守委託						
地籍等システム保守委託 システムリース(4種)						
電算事務機器等借上料						
事業費 (単位：千円)	事業費	財源	事業費	財源	事業費	財源
	直接事業費 194,854	国庫補助金等	直接事業費 150,798	国庫補助金等	直接事業費	国庫補助金等
	人件費 7,230	受益者負担	人件費 8,465	受益者負担 131	人件費	受益者負担
	合計 202,084	市債 202,084	合計 159,263	市債 159,132	合計 0	一般財源等 0

必要人員	0.90 人	1.15 人	
結果指標	結果指標名	ウィルス感染などトラブル	ウィルス感染などトラブル
結果指標	結果指標量	0	0
結果指標	単位	件	件
結果指標	対前年比	—	—
結果指標	活動にかかるコスト	円	円
結果指標	単位当たりコスト	円	円
結果指標	結果指標名	アプリケーション異常停止	アプリケーション異常停止
結果指標	結果指標量	2	0
結果指標	単位	件	件
結果指標	対前年比	—	0.00%
結果指標	活動にかかるコスト	円	円
結果指標	単位当たりコスト	円	円

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	公共システムの安定稼働		
成果指標名	トラブル発生回数 0回	式又は説明	公共システムでのトラブル発生回数 (規課でのバッチ処理等によるものは除く)
成果指標	17年度	18年度	
成果指標	3		
成果指標	対前年比	0.00%	
到達目標値		到達目標年度	

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等： <input type="checkbox"/>	妥当性評価<A~E> A
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	基幹業務をはじめとする各種システムの安定稼働維持は、行政運営にとって欠かせない基盤である。
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> A
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	保守経費については、合併前の1市2町の合計額よりコスト削減をしている。合併時のシステムリース精算が皆減したこと、保守経費の減額交渉により事業費は減少している。しかし、減額交渉は限界になりつつある。
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E> A	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	課題認識
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明	公共システムの安定稼働に努めている。事業費については常に減額を意識している。
目標値	結果指標量 0	結果指標量	0
成果指標	0	0	

総合評価	市の業務には公共システムは欠かせない基盤であり、その安定稼働は至上命題である。	評価区分 <A~E> A
------	---	-------------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	--	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	保守業務の見直し (金額交渉ではなく内容の見直し)	H20～	事業費の低減